

先生たちに聞いてみました!

I. なぜ、第一学園に就職したの?

- ◆教育実習をした時に先生たちがとても明るく楽しそうでした。笑顔が多く些細なことにも感謝の言葉を交わし合っていて、こんなところで働けたらいいなと思いました。
- ◆実習中、<mark>記録の書き方の詳しい指導</mark>がありました。きつかったけれど自分のための勉強になると思うとありがたかったです。
- ◆実習中、1年目の先生がキラキラしていた!生き生きと仕事をされていたからです。
- ◆就職活動時に何園か見学に行く予定でした。杉並台幼稚園を1番に訪問し、自主実習を申し込みオリエンテーション時に聞いた教育理念にとても魅かれ、自主実習をしてみて子どもたちが自分で考えて行動しているところを見てここに就職したいと思いました。そのため他園の自主実習にはいかず第一学園一本に決め、面接を受けることにしました。
- ◆教育方針が明確で納得できるものだったからです。
- ◆復職を決める際、家庭と仕事を両立されている先生もたくさんいらっしゃって安心して働ける環境 だと感じました。

Ⅱ. 第一学園で働いてみて。

- ①嬉しかったこと・やっていて良かったと思うときは?
- ◆子どもたちができるようになりたいと諦めずに挑戦し自分なりに頑張って達成した瞬間は、涙が出るほど感動します。その過程や喜びを一緒に体験できるこの仕事は、本当にやっていて良かったと思います。
- ◆クラスの子どもが「大きくなったら幼稚園の先生になりたい」と言ってきたときは、自分が頑張っている仕事を目指す子どもがいると思うと嬉しかったです。これからも少しでも子どもたちの目標になれるように頑張ろうと意欲が湧きました。
- ◆なかなか園生活に馴染めなかった<mark>園児の保護者から3学期に「先生が担任で良かった。」と言われた時は、嬉しくて涙が出ました。</mark>
- ◆降園後、掃除やお茶の時間に子どもたちの面白い様子を先生たちと報告し合うのが楽しいです。 プライベートな話ができる先輩がいるのも嬉しく安心できます。
- ◆誕生日に、先生たちが職員室でお祝いをしてくれました。職員会議や終礼前後の短い時間ですが、 お祝いの歌(Happy birthday)や言葉、プレゼントなどを渡され、心のこもった温かいひと時の 中でこれからも頑張ろうという気持ちが湧いてきました。同じ目的を持った仲間はいいなと思いま す。

Ⅱ. 第一学園で働いてみて。

- ②きつかったこと・不安だったこと
- ◆実際に働いてみると事務処理などの仕事もあり、子どもと過ごすことだけが仕事ではないことを改めて感じました。また、先輩の先生たちの仕事が早く追いつけないことがきついと思うことがあり、自分がどう動き何をすれば役に立つのかが分からない時悩んだりします。
 でもそんな時は、先輩に優先順位を聞いて仕事に取り組むようにしています。また、先輩だけでなく、園長先生をはじめ園に関わる皆さんがアドバイスをくれ一緒に考えてくれます。1人で悩まず周りに相談して助けてもらうことも必要なのだと実感できました。
- ◆一生懸命頑張ってもうまくいかないと悩んでいた時、先輩から「先生が頑張っていることはみんな分かっているよ。大丈夫。」と言われました。自分のことを見ていてくれたことが嬉しくて涙がでました。
- ◆担任になれて嬉しい反面、1 学期中は「クラスの子どもたちがどうなっていくのだろう」「自分で大丈夫なのだろうか」という不安も感じましたが 2 学期は運動会や音楽会などの行事で同じ学年の先生たちと一緒に考え子どもの様子を見あう合同活動の機会も多く楽しく不安も感じなくなりました。

Ⅱ. 第一学園で働いてみて。

- ③成長ややりがいを感じるときは?
- ◆担任になれたことが何よりも嬉しいです。クラスの子どもが登園後自分の姿を探してくれるのも喜びを感じます。実習中よりも密に子どもたちと触れ合うことができ、担任としての使命感を感じながら過ごしています。
- ◆就職して2年目になり成長を感じていることは、1年の見通しがより分かるようになり、プロジェクト資料や成長計画案を参考に自分で考えて準備できるようになってきということです。そのために気持ちや時間に余裕を感じ、やりたいこともはっきりしてきました。
- ◆子どもたちと様々な発見や驚きを共感でき、子どもと共に学ぶことで自分も高められます。子ども たちからは自分にはないことを学ぶことも多く、みんなで成長できる魅力的な仕事だと感じていま す。
- ◆家庭と仕事の両立は、忙しく体力的にも大変なこともありますが、<mark>復職して計画性を持って行動するようになり時間の使い方が上手になりました。</mark>家庭でも計画的に時間を使ってメリハリのある生活ができるようになりました。

先生たちからあなたへ

- ◆自分がやってみたいと考えたことは、安全面が確保できれば是非実践した方が良いと思います。頭だけで考えるだけでなく、私は、実践してみて新たな発見や課題が見えてきました。今も「どうやったらもっと面白くなるかな?」と子どもたちと共に考えながら体験することを大切にしています。
- ◆自分が得意なことを見つけてください。自信を持って取り組めるものがあると子どもたちの活動に も生かすことができるし、更なる意欲や自信が湧いてくると思います。
- ◆日頃から正しいペンの持ち方と美しい文字を書くことを意識するようにしています。保護者との連 絡帳のやり取りでは、美しい文字で心や思いがより伝わるようにしたいです。
- ◆ピアノが苦手ですが、簡単な楽譜を毎日練習することから始めました。簡単な楽譜でもリズムよく 表現豊かに演奏できると自分も楽しくなり、子どもたちも楽しんで歌ってくれています。今も毎日 練習しています。※定番の季節の歌等は早目に練習しています。
- ◆何事も自分が楽しむことが大切。楽しいとたくさんのアイディアが浮かんできます。